

保証書

持込修理

型番	SI-50		
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名 TEL.	印

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。
- ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理、もしくは修理をお断りする場合があります。
イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
ハ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
ニ) 車輻、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

- ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障及び損傷
ヘ) 腐食による故障及び損傷
ト) プラスチックの表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
チ) 本書のご提示がない場合
リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
ヌ) 中古品、又は個人売買(オークションサイト、フリマアプリ等)で購入された商品の場合
⑤ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only with in Japan.
⑥ 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
⑦ 出張修理は行っておりません。

年 月 日	サービス内容	点 検 印
・ ・		
・ ・		
・ ・		

株式会社 石崎電機製作所

お客様ご相談センター

TEL: 048-931-3110

〒340-0807 埼玉県八潮市新町9

受付時間：月～金の9時～12時/13時～17時

※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

スチームアイロン
SI-50
取扱説明書

家庭用

100V

900W

SURE

保証書付

このたびはスチームアイロンをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

01~04 安全上のご注意

05~06 各部の名前とはたらき

06 温度設定の仕方

07~11 ご使用方法

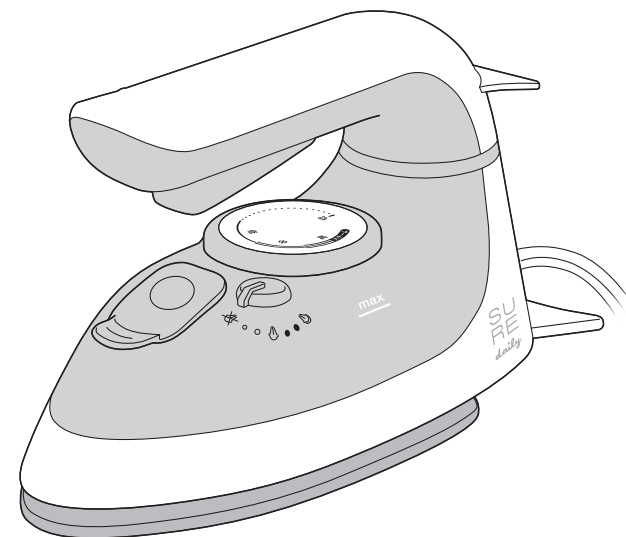
12 お手入れと保管

13 故障かな?と思ったら

14 仕様

14 保証とアフターサービス

裏表紙 保証書



△ 注意

やけどに注意!

アイロンのかけ面、スチームに触れない。高温によるやけどの原因になります。

スチームを人に向けて噴出しません。

スチームに触れると、やけどの原因になります。



禁止

タンク内部に若干の水 droplets が付着している場合がありますが、スチーム検査を行っているためで、異常ではありません。

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠ 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が傷害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

⦿は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。左図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。左図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

⚠ 警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、
差込プラグを抜く。

- ・電源コードが傷んでいる。(ひび割れ、中の線が見えるなど)
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - ・コゲくさい臭いがする。
 - ・電源コードや差込プラグが異常に熱い。
- などの症状が出たら、すぐに販売店またはお客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

お客様ご相談センター
048-931-3110



必ず行う



プラグを抜く

安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人や子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。製品で子供が遊ばないようにする。
けが・やけど・感電の原因になります。



禁止

スチームを人に向けて噴出ししない。
スチームに触れると、やけどの原因になります。



禁止

⚠ 警告 取り扱い・使い方

修理技術者以外の人、絶対に分解・修理を行わない。または改造しない。
異常動作して感電・発火し、けがの原因になります。



分解禁止

カーテンなどの可燃物の近くで使用しない。
火災の原因になります。



禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

濡れた手で温度調節ダイヤルの操作をしない。
感電の原因になります。



濡れ手禁止

⚠ 警告 電源・コード

電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発火の原因になります。



必ず行う

差込プラグのほこりなどは定期的に拭きとる。
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグをもって引き抜く。
感電・ショート・故障の原因になります。



必ず行う

使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。
けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

電源コードに足などを引っかけない。
けがや故障の原因になります。



禁止

差込プラグにピンやごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

差込プラグをなめさせない。
乳児が誤ってなめないように注意する。
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重たいものを載せたり挟み込んだりしない。
電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



濡れ手禁止

安全上のご注意 (その2)

△ 注意 使用場所

風呂場やシャワー室などの
湿気が多い場所でアイロンかけはしない。
火災・感電の原因になります。



風呂・シャワー室
での使用禁止

火気(コンロ・ストーブ)の近くやほこりの多
いところ、水のかかるところでは使用しない。
故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の
原因になります。



禁止

ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上や、じゅ
うたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では
使用しない。
火災の原因になります。



禁止

△ 注意 やけど・けがを防ぐために

湿った衣類(霧吹きした衣類)は、ドライで
アイロンかけをする。
スチームでおこなうと湯滴が出て、やけどの原因
になります。



確認

熱いスチームに触れない。
やけどの原因になります。アイロン台によっ
ては、スチームが透過する場合があります。



接触禁止

アイロンかけ及びスチームかけ以外の目的で
使用しない。
過熱・異常動作による発火・やけどの原因になります。



禁止

アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない。
やけどの原因になります。



禁止

△ 注意 発火・火災を防ぐために

通電したまま放置しない。その場を離れる
場合は必ず差込プラグを抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電
火災の原因になります。



禁止

熱い状態のアイロンに電源コードを巻き付けない。
ショート・発火することがあります。



禁止

壁や家具の近くでは使わない。
熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。
また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



禁止

不安定な場所の上では使用しない。必ず平らで
安定した場所で使用し、安定した所に立てて置く。
毛足の長い敷物や不安定な所に置くと、転倒し
て敷物の損傷、けが・やけどの原因になります。



禁止

注水や排水のときは、差込プラグを必ず
コンセントから抜く。
感電の原因になります。



必ず行う

使用中・使用直後は高温部(かけ面)に
触れない。
やけどの原因になります。



接触禁止

着用したままの衣類にアイロンかけ及び、
スチームをかけない。
やけどの原因になります。



禁止

パイロットランプ点灯中はショットボタンを押さない。
スチーム噴出孔から湯滴が出てやけどの原因に
なります。



禁止

アイロンの近くで可燃性ガスなどが発生するも
のを使用しない。
火災の原因になります。



禁止

引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シン
ナー)の近くで使用しない。
ショート・発火することがあります。



禁止

△ 注意 取り扱い

水は水道水を使用する。
ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオ
ン整水器の水、香料を含んだ水を使うと、水アカ
がたまって腐食や故障の原因になります。



必ず行う

衣類などに付いている
アイロンマーク(絵表示)を必ず守る。
衣類などのこげ・変質などの原因になります。
(絵表示の説明は P.6 をご覧ください。)



必ず行う

落下などにより本体が破損や水漏れした
場合は、使用しない。
発火や感電事故の原因になります。



禁止

ご使用後は、水タンクの水を抜いて保管する。
水がこぼれたり、次回のご使用時に電源を
入れるとスチームや熱湯が吹き出ることが
あります。



必ず行う

業務使用は行わない。
一般家庭用のアイロンです。
ご使用方法を理解せずに不特定多数の方
や業務でご使用されることはアイロンの早
期故障や重大事故につながります。



禁止

落としたりぶつけたりしない。
感電・発火の原因になります。



禁止

スチーム使用のときは、スプレーのりを使
用しない。
かけ面にのりが付着し、アイロンかけが
スムーズにできなくなることがあります。



禁止

本体に水がついた状態で使用しない。
ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

熱や湿り気に弱い壁紙の近くではスチーム
を使用しない。
スチームによりダメージを受ける可能性が
あります。



禁止

アイロンかけしている衣類などが異常に発煙
したり発火した場合は、アイロンを衣類から
離し、すぐに温度調節ダイヤルを『切』にし、
差込プラグを抜く。
火災の原因になります。



必ず行う

水タンクへの注水は「MAX」目盛りまで。
目盛り以上に入れると、使用中に水がこぼ
れる原因になります。



必ず行う

お手入れのときは、差込プラグを
コンセントから必ず抜いて行う。
感電事故の原因になります。



プラグを抜く

アイロンを運ぶときは、十分に冷えてい
ることを確認する。
けがや、やけどの原因になります。



必ず行う

ボタン・ファスナーなどの
固いものにアイロンかけはしない。
かけ面の傷付き・コーティングの剥れの
原因になります。



禁止

市販のかけ面カバーや、スチーム噴出孔を布
で覆って使用しない。
故障の原因になります。



禁止

水をこぼさない。誤動作の原因になります。
水がこぼれたときは、布で拭き取ってから使用
してください。



水濡れ禁止

皮革製品や人工革製品、絹、着物などには
使用しない。
スチームにより縮む恐れがあります。



禁止

各部の名前とはたらき

ハンドル
18回転させて使用することができます。

温度調節ダイヤル
繊維に合わせて温度調節をします。

ショットボタン
ボタンを押すと、スチーム噴出孔よりショットスチームが噴出します。

注排水フタ
注排水フタを開け、給水カップで水を給水します。使用後、残った水をここから捨てます。

パイロットランプ
点灯・消灯により温度を調節していることをお知らせします。

MAX目盛り
満水は約50mlです。
MAX目盛り以上に水を入れないでください。
水漏れの原因になります。

電源コード
約3.0mのゴムコードです。

差込プラグ
定期的にはこりや汚れを取り除いてください。

スチーム調節ダイヤル
スチームの量を調節します。

多い 少ない ドライ (スチームなし)

スチーム/ショットスチーム噴出孔

かけ面
滑りをよくするために表面にはセラミックコーティングがしてあります。

付属品

給水カップ 1個
1回の給水で水タンクを満水(約50ml)にできます。

温度設定の仕方

温度設定の仕方

温度設定位置		低	中	高
かけ面の温度		約80℃～130℃	約130℃～160℃	約160℃～200℃
絵表示	新表示			
	旧表示			
衣類・布地の種類		アクリル シルク ポリウレタン ポリプロピレン	毛・ナイロン ビニロン レーヨン キュプラ アセテート ポリエステル	綿・麻 ポリノジック

絵表示の見かた

アイロンかけ禁止です。

△注意

おかけになる布地に日本工業規格「JIS」で定められた絵表示がある場合は、その絵表示に従い温度調節ダイヤルで温度設定を合わせてください。

絵表示がない場合は、おかけになる布地に合った温度設定を温度調節ダイヤルで合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維温度に合わせてください。

低温・中温および熱に弱い布地には「あて布」をするか「ためしかけ」をしてください。布地のテカリを防止するには「あて布」をしてください。

布地に合った温度設定でアイロンかけをしても、布の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると布地をいためる事がありますので注意してください。

ご使用方法 (その1)

スチームアイロンとしての使い方

1 水タンクに給水する

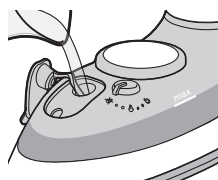
- 1 温度調節ダイヤルを『切』にしてアイロンを水平に置き、ハンドルを時計回りに180度回転させ、注排水フタを開きます。

※差込プラグをコンセントに入れる前に水を注水してください。



- 2 給水カップでMAX目盛り以下まで水をゆっくり入れます。

※スチーム調節ダイヤルは必ずドライ『』にしてください。

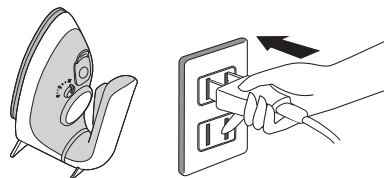


- 3 給水が終わったら、注排水フタを確実に閉め、ハンドルを反時計回りに回し、元の状態に戻します。



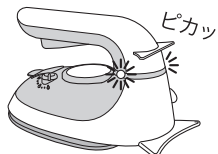
2 温度設定をする

- 1 アイロンを立てて置き、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



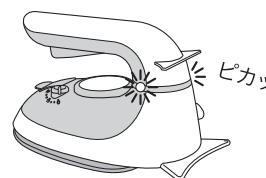
- 2 温度調節ダイヤルを **スチーム** 位置内に合わせると、パイロットランプが点灯します。(P.6の温度設定の仕方を参照します。)

※スチーム位置以外の温度でスチームを使用するとかけ面のスチーム噴出孔から湯滴が漏れることがあります。



3 アイロンかけをする

- 1 適温になるとパイロットランプが消えて使用できます。加熱通電中はパイロットランプが点灯します。



- 2 アイロンを水平にして、スチーム調節ダイヤルを『』～『』に合わせてスチームを出しながらアイロンかけをします。

※スチームの噴出量をスチーム調節ダイヤルで行ってください。

※スチームは高温ですので、やけどには十分注意してください。

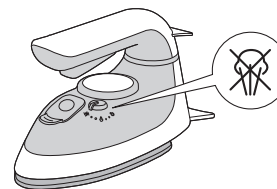


△ 注意 スチームを使用する際は、ご使用前にショットスチームを2回以上噴出させ、スチームの流れをよくしてから開始してください。布地の目立たないところで試しかけをしてからお使いください。

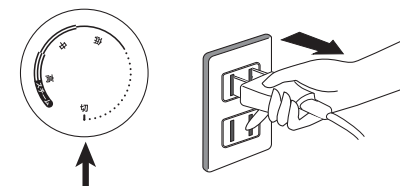
△ 注意 アイロン使用中に、立てて置くときはショットボタンを押さないでください。スチームが噴出し、やけどの恐れがあります。

4 使用後

- 1 スチーム調節ダイヤルをドライ『』に合わせてスチームを止めます。

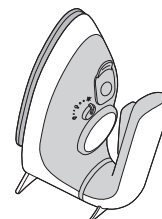


- 2 温度調節ダイヤルを『切』にして、差込プラグをコンセントから抜きます。



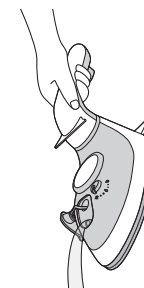
- 3 かけ面が冷えるまで安全な場所に立てて置きます。

※かけ面が冷めるまで近づかないで下さい。やけどの原因になります。



- 4 かけ面が完全に冷えたらハンドルを回し、注排水フタを開け、水を捨てます。

※腐食防止のため必ず行ってください。

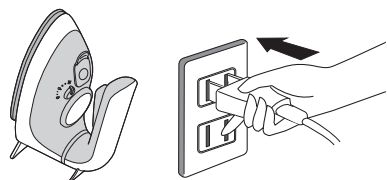


ご使用方法 (その2)

ドライアイロンとしての使い方

1 温度設定をする

- 1 アイロンを立てて置き、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



- 2 スチーム調節ダイヤルをドライ『』の位置にし、温度調節ダイヤルを布地に合わせて回します。パイロットランプが点灯します。(P.6の温度設定の仕方を参照します。)



2 アイロンかけをする

- 1 アイロンかけをします。

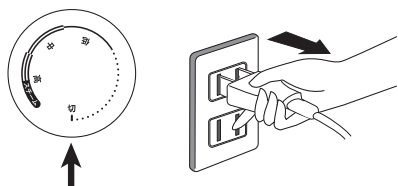


△ 注意

- スチーム調節ダイヤルがドライ『』になっていることを確認してください。スチームが噴出される場合があります。
- スチームが出る場合は、スチームが出なくなるまで待つてから、アイロンかけをしてください。
- ドライで使用する場合は、水タンクに水が入っていないことを確認してからコンセントを差し込んでください。
- ショットボタンを押さないでください。
- 高温状態でハンドルを回さないでください。やけどの原因になります。

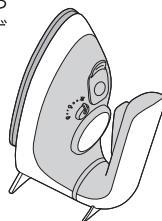
3 使用後

- 1 温度調節ダイヤルを『切』にして差込プラグをコンセントから抜きます。



- 2 かけ面が冷えるまで平らで安定した場所に、必ず立てて置いてください。

注: かけ面が冷えるまで近づかないで下さい。やけどの原因になります。



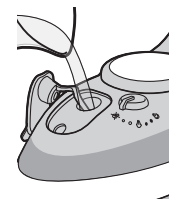
衣類スチーマーとしての使い方

1 水タンクに給水する

- P.7の1 水タンクに給水する を参照し、水タンクに給水します。

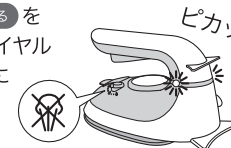
水漏れ防止

スチーム調節ダイヤルがドライ『』にしてあることを確認してください。



2 温度設定をする

- P.7の2 温度設定をする を参照し、温度調節ダイヤルを『スチーム』の位置内に合わせます。



△ 注意

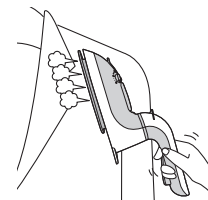
スチーム位置以外の温度でスチームを使用すると、かけ面のスチーム噴出孔から湯滴が漏れることがあります。

3 スチーマーかけをする

適温になるとパイロットランプが消えて使用できます。ショットボタンを押すとショットスチームが出ます。

※使用中にパイロットランプが点灯したら消灯するまでお待ちください。

※2、3秒に1回のペースでショットスチームを出してください。



△ 注意

- 高温状態でハンドルを回さないでください。やけどの原因になります。
- 皮革製品や人工革製品、絹、着物などには使用しないでください。
- かけ面が熱い状態で本体から手を離すときは、下記のように机や床等に置かないでください。



4 使用後

かけ面が冷えたら注排水フタを開け、水を捨てます。

※腐食防止のために、水タンク内の水は必ず捨ててください。



4通りの使い方ができます

水平
Uの字



水平
Iの字



垂直
Uの字



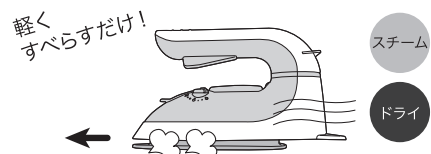
垂直
Iの字



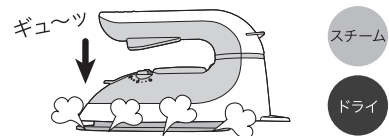
ご使用方法 (その3)

アイロンの上手な使い方

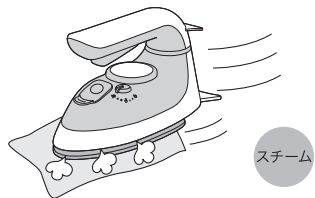
必要以上の力をかけないで、衣類の上をすべらすように軽くかけるだけで十分です。



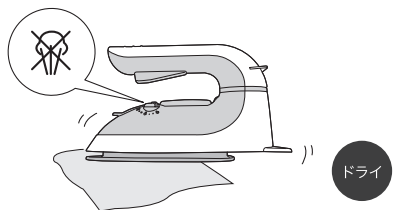
とくに折り目をはっきりつけたい所やガンコなシワの部分はしっかり押さえます。



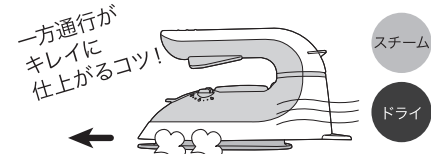
適度な温度と湿り気でサッと仕上げるのがコツです。



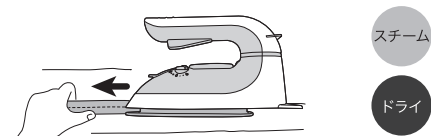
アイロンかけは、ドライで低温の布地から。繊維をいためる恐れもなく、早くできます。



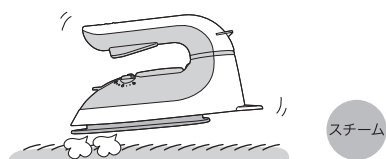
アイロンを往復させたりすると余分なシワができます。一定方向に動かしましょう。



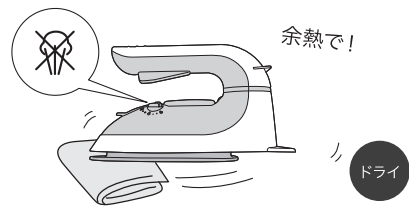
衣類の縫い目に合わせ、縫い目を引っ張り気味にかけるのがポイントです。



ウールやセーターのような毛足の長い繊維には「浮かしかけ」をしてスチームを当てます。



ハンカチなどの小さいものは、電源を切ったあとの余熱を、ドライで利用ください。

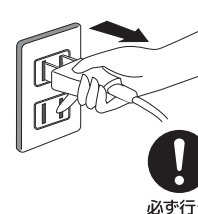


お手入れと保管

⚠ 警告 お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。必ずかけ面が十分に冷めてから行う。ご使用後、手をかざし熱を感じた時は、冷めるまでお手入れを行わない。やけどの原因になります。

⚠ 注意

お手入れの際は必ず差込プラグをコンセントから抜く。濡れた手で抜き差しをしない。ショート・感電やけがの原因になります。



ご使用ごとに、やわらかい布か、濡れた布で拭き、最後から拭きしてください。



本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。ショート・感電の原因になります。



金属製のたわしやナイロンたわし、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、アルカリ性洗剤、磨き粉などは使用しない。傷や表面加工が剥がれる原因になります。



本体のお手入れ

本体・かけ面の汚れは、やわらかい布などで拭いてください。かけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水をふくませた布で拭き取り、最後から拭きをしてください。

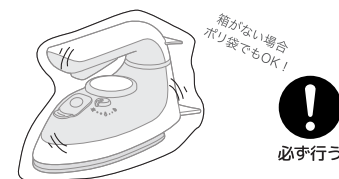
スチーム噴出孔のつまりは、つま楊枝などで取り除いてください。目安は3、4ヶ月に1回です。



保管

※保管する前に、必ずお手入れを行い、十分に乾燥させてください。

- ・温度調節ダイヤルは必ず『切』にしてください。
- ・スチーム調節ダイヤルは必ずドライ『』にしてください。
- ・保管の際は、商品の入っていた箱にクッション材と共に収めてください。
- ・箱がない場合はポリ袋等に収めて保管してください。
- ・湿気の少ないところに保管してください。
- ・保管時は上に物を乗せたりしないでください。
- ・コードは束ねて保管してください。



故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

症 状 調べる ところ	熱く ならない	かけ 面が スチー ムが出 ない	少な い	スチー ム量 が出 ない	シヨ ット が出 ない	少な い	シヨ ット 量 が出 ない	スチ ーム 噴出 孔の つま り、 かけ 面の 腐食	スチ ーム 噴出 孔 から 水が 漏れ る	原因・処置
差込プラグ	●	●		●					●	差込プラグはコンセントに根本まで差し込まれて いますか？ 【処置】 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直 してください。
温度調節 ダイヤル	●	●	●						●	ダイヤル目盛りは布地に合った適切な位置になっ ていますか？ 【処置】 ダイヤル目盛りの位置を再度確認してくだ さい。
		●	●	●	●	●				温度調節ダイヤルが『スチーム』位置になっていま すか？ 【処置】 ダイヤル目盛りの位置を再度確認してくだ さい。
パイロット ランプ		●		●					●	パイロットランプが点灯していませんか？ 【処置】 パイロットランプが消えて適温になってから 使用してください。
スチーム 調節ダイヤル		●	●							スチーム調節ダイヤルは適切な位置になっていま すか？ 【処置】 スチーム調節ダイヤルを『  』『  』『  』に必ず 合わせてください。
									●	注水時、スチーム調節ダイヤルが『  』『  』『  』にな っていませんか？ 【処置】 スチーム調節ダイヤルを必ずドライ『  』に合 わせてから注水してください。
シヨット ボタン					●	●	●			温度調節ダイヤルが『スチーム』位置になっていま すか？ 【処置】 ①ダイヤル目盛りの位置を再度確認してく ださい。 ②パイロットランプ消灯後、シヨットボタンを 数回押してください。
スチーム 噴出孔		●	●	●	●			●		スチーム/シヨット噴出孔のお手入れをされていますか？ 【処置】 P.12 の「本体のお手入れ」を参照して清掃し てください。
使用後の 排水									●	前回ご使用の水が「水タンク」に残っていませんか？ 【処置】 使用後は必ず水を捨ててください。
かけ面								●		かけ面に何か付着していませんか？ 【処置】 P.12 の「本体のお手入れ」を参照して清掃し てください。
									●	水に含まれる鉱物質などが出るもので、異常ではあり ません。白い粉が衣類についた場合、払うと取れます。
繊維製品の 絵表示									●	布地にあった温度設定になっていますか？ 【処置】 P. の「温度設定の仕方」を参照して適温に 合わせ直すか、あて布をしてください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
詳しくは、**P.14**「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕 様

定 格	100V-900W 50/60Hz	蒸 気 発 生 方 法	滴下式
寸 法	長さ192×幅89×高さ110mm	電 源 コ ー ド	約3.0m
質 量	約0.54kg(約0.72kg 電源コードを含む)	温度過昇防止装置	温度ヒューズ 240℃
かけ面の面積	約103cm ²	温 度 設 定 範 囲	約80℃～200℃
水タンク容量	約50ml	付 属 品	給水カップ(約50ml)

保証とアフターサービス

- 修理・お取扱い・お手入れなどのご相談
お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにお申し付けください。
- 修理を依頼されるとき
使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いて
お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●保証書(裏表紙) 必ず「お買い上げ日、販売店」の記入をご確認の上、 お買い上げ販売店から受け取り、内容をよくお読み の上、大切に保管してください。	●保証期間が過ぎているときは 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料 で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低 保有期間は、製造打ち切り後5年です。 (注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
●保証期間中は 保証書の規定に従って、お買い上げ販売店またはお客 様ご相談センターに修理を依頼してください。製品に 保証書を添えてご持参ください。	●保証期間:お買上げ日から1年間 詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL: 048-931-3110	受付時間:月～金の9時～12時/13時～17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

長年ご愛用のスチームアイロンの点検を！

このような症状はありませんか？



- 差込プラグやコードが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 本体に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- その他の異常、故障がある。

このようなときは、ご使用を
中止してください。事故防止
のため、必ず販売店に点検
修理をご相談ください。

株式会社 石崎電機製作所

本社 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15	東日本営業所 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031	西日本営業所 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL.06-6541-3893	公式ホームページ  www.sure-ishizaki.co.jp
-----------------------------------	---	--	---